

2023 年 12 月 22 日
伊藤ハム米久ホールディングス株式会社

2023 年度取締役会実効性評価の結果について

当社は、当社取締役会が当初設計されたよう正常に機能しているかについて自己評価し、取締役会の実効性を高め、当社にとって最適なガバナンス体制を構築することを目的として、毎年 1 回、9 月から 12 月にかけて取締役会の実効性評価を行っています。

2023 年度の実効性評価の結果の概要は、次のとおりです。

1. 評価プロセス

当社は、取締役会の実効性を分析・評価するため、取締役会の諮問機関としてガバナンス委員会を設置しています。

ガバナンス委員会は、前回（2022 年度）の実効性評価を通じて抽出された課題への取り組み状況の評価、及び取締役会が役割と責任を実効的に果たしているかの評価を目的として、全取締役と全監査役に対して、7 評価項目・17 設問と自由筆記欄にて構成されるアンケートを実施しました。

評価項目は、次のとおりです。

- ①取締役会の構成
- ②取締役会の運営
- ③取締役会における議論
- ④取締役会による監督
- ⑤経営陣の選解任
- ⑥役員報酬
- ⑦株主との対話

ガバナンス委員会では、アンケート回答をもとに審議を行い、分析・評価結果のレポートを作成、レポートを取締役に提言し、取締役会にて議論を行いました。

2. 評価結果

(1) 評価結果の概要

一部の評価項目については取り組みを継続中ですが、前回の実効性評価により抽出された課題への対応が進み、取締役会の実効性は概ね確保されていると判断しました。

(2) 前回の重点テーマへの取り組み

前回の評価結果により抽出された課題のうち、4 項目を重点テーマとし、取り組み強化を

図りました。

重点テーマとその取り組み（2023 年 1 月～2023 年 12 月）の概要は、次のとおりです。

①経営戦略と結びつけたサステナビリティへの取り組み

- ・ 2022 年 4 月より設置したサステナビリティ推進室を、2023 年 4 月から社長直轄組織である経営戦略部の傘下に移管し、経営戦略との連携をよりいっそう図ることができる体制を整えました。

②経営人材育成に関する議論の充実

当社の経営人材育成について、取締役会メンバーによるディスカッションの機会を複数設け、社長及び指名諮問委員長からの説明も踏まえた議論を行いました。

③人的資本の議論

人的資本の議論については取締役会で継続的に取り上げることとしています。
人材育成方針や環境整備方針などを有価証券報告書で開示しました。

④企業活動の情報発信の充実

実質株主判明調査結果を活用し、投資家等との対話の充実に繋げていきます。

（３）今後の重点テーマ

今回の取締役会実効性評価で抽出された課題のうち、次の４項目は取り組み強化を図っていくこととしています。

①長期的な戦略と結びつけたサステナビリティ

②経営戦略と人的資本の連動の取り組みについての議論

③経営人材育成に関する継続的な議論

④資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応への取り組み

今回の評価結果を踏まえ、継続的に取締役会の実効性向上に努めていきます。

以上